

インド通信

みやぎ海外絆大使
JICA 海外協力隊
澤村啓之

インド通信第3号です。

今回はヒンズー教寺院のお話です。

人口の大半をヒンズー教徒が占めるインドではあちらこちらにヒンズー教寺院があります。僕が働いている学校の隣もヒンズー教寺院です。

でも、よく見ると伝統的なカラフルな色使いの寺院もあれば、白色で統一した超近代的な寺院もあります。

また、巨大なシバ神の像があるまるでアミューズメントパークのような寺院もあります。

先日、職場の同僚に学校の隣にあるヒンズー教寺院に連れて行ってもらい一緒に参拝してきました。寺院内は撮影禁止でしたので参拝の様子は以下に時系列にまとめました。

少しは参拝の様子が伝わるでしょうか？

(ヒンズー教寺院での参拝の作法)

1. 靴を脱いで足を洗う。
2. 敷居に手をつき、それを額に当て本堂に入っていく。
3. 僧侶が持ってきた花籠の花に手を触れる。
4. 僧侶はその花を祀ってあるヒンズーの神様に捧げる。
5. 僧侶は火のついた燭台を神様の周りをグルグルさせ、
6. そのあとに参拝者はその火に手をかざしその手で頭を擦る。
7. 最後にティータという神の水が杓子で右手のひらに注がれそれを飲み干す。

(左手を差し出したら僧侶に怒られました。)

8. その儀式が終わったら本堂の神様の周りを3回廻る。
9. その後、本堂を出て境内の4隅にある別のヒンズーの神様をお参りする。
10. 出口で甘いお菓子(黄な粉のようなもの)が振舞われておしまい。

ヒンズー教参拝には細かい作法があるんだなあ！と感心して帰ってきました。



伝統的な色使いの寺院



白色の超近代的寺院



巨大シバ神の像